



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社神戸製鋼所

コード番号 5406 URL <https://www.kobelco.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）勝川 四志彦

問合せ先責任者 （役職名）総務・CSR部長 （氏名）佐々木 憲政 TEL 03-5739-6010

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	1,778,073	△5.6	94,442	△24.2	89,514	△32.6	84,332	△27.8
2025年3月期第3四半期	1,884,054	0.6	124,531	△9.9	132,873	△0.8	116,845	6.5

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 89,188百万円（△20.1％） 2025年3月期第3四半期 111,636百万円（△30.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	214.11	—
2025年3月期第3四半期	296.15	—

（注）1 2025年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

（注）2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	2,888,203	1,282,759	41.9
2025年3月期	2,891,053	1,237,059	40.2

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 1,210,373百万円 2025年3月期 1,161,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2026年3月期	—	40.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,440,000	△4.5	130,000	△18.1	110,000	△30.0	100,000	△16.8	253.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

本日公表の「決算補足説明資料」も併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	396,345,963株	2025年3月期	396,345,963株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,651,729株	2025年3月期	1,331,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	393,859,098株	2025年3月期3Q	394,539,914株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算補足説明資料をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

経営成績の概況については、本日TDnet及び当社ホームページ (<https://www.kobelco.co.jp>) に掲載いたしました決算補足説明資料に記載しておりますので、TDnet又は当社ホームページより、決算補足説明資料をご覧ください。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末とおおむね同水準の2兆8,882億円となりました。負債については、社債の償還や借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べ485億円減少し1兆6,054億円となりました。純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ456億円増加し1兆2,827億円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.9%となり、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント上昇しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	220,122	221,635
受取手形、売掛金及び契約資産	404,433	402,043
商品及び製品	265,939	261,579
仕掛品	172,738	191,224
原材料及び貯蔵品	283,426	266,700
その他	75,030	76,433
貸倒引当金	△5,435	△5,476
流動資産合計	1,416,256	1,414,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	286,849	284,456
機械装置及び運搬具（純額）	535,498	509,254
土地	166,797	166,128
その他（純額）	57,982	70,785
有形固定資産合計	1,047,127	1,030,624
無形固定資産	50,170	56,156
投資その他の資産		
投資有価証券	214,144	222,279
その他	185,353	186,422
貸倒引当金	△21,998	△21,420
投資その他の資産合計	377,498	387,280
固定資産合計	1,474,796	1,474,061
資産合計	2,891,053	2,888,203
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	365,655	369,558
短期借入金	190,327	173,149
コマーシャル・ペーパー	—	48,000
1年内償還予定の社債	35,000	10,000
リース債務	31,846	5,194
未払法人税等	10,630	8,200
引当金	55,551	44,116
その他	225,540	243,864
流動負債合計	914,551	902,083
固定負債		
社債	130,000	120,000
長期借入金	479,192	453,766
リース債務	19,966	19,467
退職給付に係る負債	58,187	53,942
引当金	17,673	16,152
その他	34,422	40,031
固定負債合計	739,441	703,360
負債合計	1,653,993	1,605,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,930	250,930
資本剰余金	119,861	121,896
利益剰余金	632,946	679,726
自己株式	△2,010	△4,324
株主資本合計	1,001,727	1,048,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,885	54,235
繰延ヘッジ損益	△743	2,844
土地再評価差額金	4,958	4,959
為替換算調整勘定	69,485	55,822
退職給付に係る調整累計額	38,483	44,282
その他の包括利益累計額合計	160,069	162,145
非支配株主持分	75,262	72,386
純資産合計	1,237,059	1,282,759
負債純資産合計	2,891,053	2,888,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,884,054	1,778,073
売上原価	1,564,962	1,482,015
売上総利益	319,091	296,057
販売費及び一般管理費	194,560	201,615
営業利益	124,531	94,442
営業外収益		
受取利息	1,920	2,265
受取配当金	4,826	4,991
業務分担金	2,454	3,030
持分法による投資利益	11,110	10,444
その他	19,303	11,213
営業外収益合計	39,615	31,945
営業外費用		
支払利息	10,296	9,975
出向者等労務費	7,226	7,984
その他	13,749	18,912
営業外費用合計	31,272	36,872
経常利益	132,873	89,514
特別利益		
投資有価証券売却益	—	15,775
固定資産売却益	5,414	6,751
負ののれん発生益	16,708	—
段階取得に係る差益	313	—
特別利益合計	22,436	22,527
特別損失		
関係会社株式売却損失引当金繰入額	—	4,354
特別損失合計	—	4,354
税金等調整前四半期純利益	155,310	107,687
法人税等	35,784	20,344
四半期純利益	119,526	87,342
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,680	3,010
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,845	84,332

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	119,526	87,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,855	5,031
繰延ヘッジ損益	1,926	3,606
為替換算調整勘定	4,595	△13,951
退職給付に係る調整額	△1,042	5,844
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,513	1,315
その他の包括利益合計	△7,889	1,845
四半期包括利益	111,636	89,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,012	86,407
非支配株主に係る四半期包括利益	3,624	2,781

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算手続きの効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					
	鉄鋼アルミ	素形材	溶接	機械	エンジニアリング	建設機械
売上高						
外部顧客への売上高	817,268	224,276	69,442	171,857	110,043	293,795
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,519	9,436	458	8,969	1,230	159
計	845,787	233,712	69,900	180,826	111,274	293,955
セグメント損益	26,417	7,674	3,179	21,872	13,969	21,600

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電力	計				
売上高						
外部顧客への売上高	190,885	1,877,569	5,473	1,883,043	1,011	1,884,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	48,773	1,082	49,856	△49,856	—
計	190,885	1,926,343	6,556	1,932,899	△48,845	1,884,054
セグメント損益	38,183	132,896	3,241	136,137	△3,263	132,873

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、本社所管の事業会社等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額は、次のとおりであります。

(単位: 百万円)

	金額
全社損益(※)	6,260
その他の調整額	△9,524
セグメント損益の調整額	△3,263

(※) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. セグメント損益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメント毎の固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

鉄鋼アルミセグメントにおいて、関西熱化学(株)の株式を追加取得し子会社化したことに伴い、負ののれん発生益16,708百万円を特別利益に計上しております。

なお、負ののれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	鉄鋼アルミ	素形材	溶接	機械	エンジニアリング	建設機械
売上高						
外部顧客への売上高	725,352	228,272	70,077	184,091	121,510	287,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,501	9,511	567	9,712	1,564	61
計	751,853	237,783	70,644	193,803	123,075	287,211
セグメント損益	9,660	1,369	3,570	29,825	9,196	6,951

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電力	計				
売上高						
外部顧客への売上高	157,551	1,774,005	3,001	1,777,006	1,066	1,778,073
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	47,918	1,310	49,228	△49,228	—
計	157,551	1,821,923	4,311	1,826,234	△48,161	1,778,073
セグメント損益	29,934	90,508	2,532	93,041	△3,526	89,514

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、本社所管の事業会社等を含んでいます。

2. セグメント損益の調整額は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	金額
全社損益 (※)	△5,164
その他の調整額	1,638
セグメント損益の調整額	△3,526

(※) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. セグメント損益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末に比べて2,314百万円増加いたしました。主な増加要因は、2025年5月12日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	90,545 百万円	92,123 百万円
のれんの償却額	441	331

(企業結合等関係)

2024年10月31日付で関西熱化学株式会社の株式を追加取得し子会社化しました。本企業結合について、前第3四半期連結累計期間において暫定的に算定した負ののれん発生益2,674百万円を計上しておりました。その後、前連結会計年度末において会計処理が確定したため、その内容を当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報に反映し、負ののれん発生益の金額を16,708百万円に見直しております。この結果、前第3四半期連結累計期間の特別利益は14,033百万円増加し、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は同額増加しております。